



TORISEN 2021
環境+
社会活動
レポート



—安全です! 新鮮です!!—

とりせん

【お問い合わせ】

株式会社とりせん 営業企画部

〒374-8512 群馬県館林市下早川田町700番地

TEL.0276-74-2128 FAX.0276-74-0959

ホームページアドレス

<https://www.torisen.co.jp>



リスペクト
3R

リスペクト＝地球資源に対する尊敬の念

Reduce
 リデュース
 発生抑制

Reuse
 リユース
 再使用

Recycle
 リサイクル
 再生利用

私たちは、地域と地球の環境に配慮した
 事業者です



エコアクション21
 ◎環境省
 認証番号 0004150



株式会社とりせんは群馬県と「地域活性化包括連携協定」を締結しています。



2021年環境・社会活動レポートをお手に取って頂き、ありがとうございます。

当社は創立以来、「誠実・信頼・努力」を社是として事業に取り組んで参りました。そして「安全、安心」を社業の基本とし、健全で堅実な企業体質の確立、企業市民としての誠実な行動、環境負荷の軽減といった視点から企業活動を推進しております。

地球温暖化に代表される環境問題は、当社においても社会的責任の1つと位置付けております。省エネルギー機器の設置、食品残渣の堆肥化リサイクル、発泡スチロールやダンボールのリサイクル、資源物の店頭回収、マイバッグ運動など、商品の仕入れから販売に留まらず、消費、廃棄にいたるすべてのシーンで資源の再利用や環境負荷の低減に取り組み、「環境に優しい店づくり」を目指しております。

また、環境活動と同様に社会的責任として実施している食育推進活動には、多くの親子に参加いただいております。当社ではわが国の未来を担う子供たちをはじめ大人の方にも活動に参加して頂き、正しい食生活の理解を通じて、心とからだの健康づくりに役立てて欲しいと願っております。

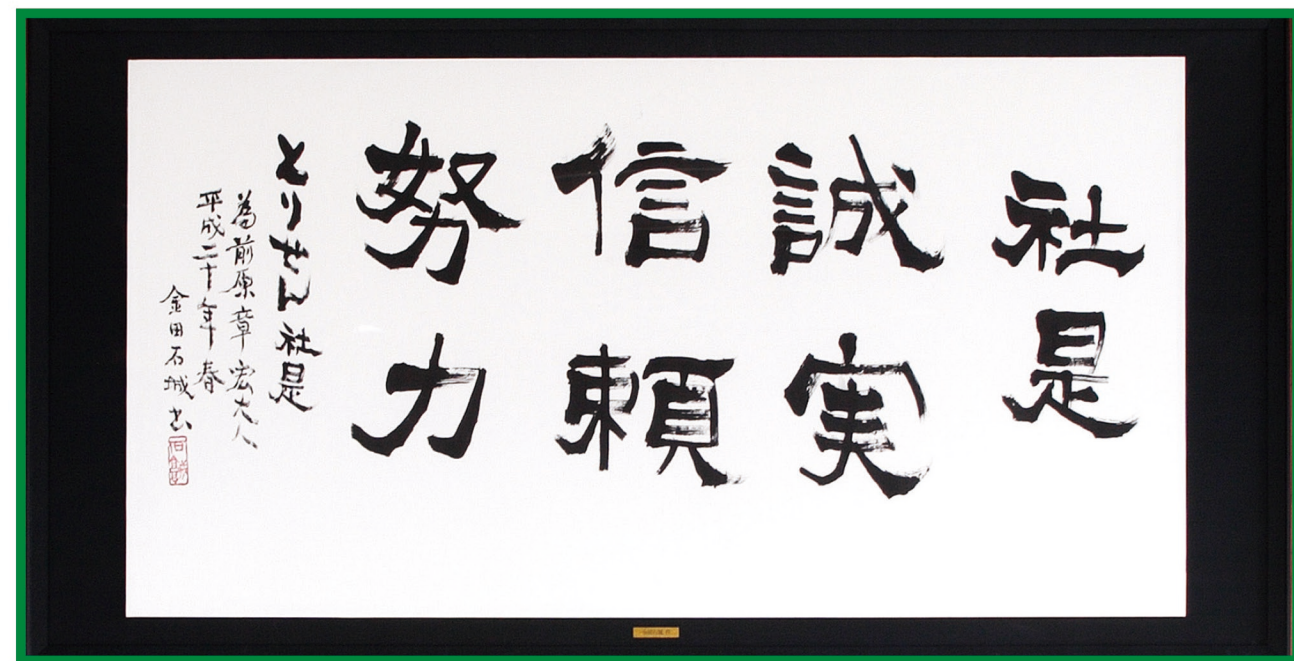
今年で20回目の発行となる「とりせん環境・社会活動レポート」を通じて、当社の思いを皆さまにお届けできれば幸いです。あわせて、ご感想やご助言等を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
前原 章宏



代表取締役社長
前原 宏之



とりせん社是 書道家 金田石城先生作品

環境理念

私たちは、お客様の豊かな暮らしを創造するために、安全で良質な商品・サービスを提供し、ご満足頂くことが第一の役割と考えます。同時に、私たちを取り巻く環境問題についても、企業市民としてふさわしい責任と行動力を持って柔軟に対応し、地域のお客様とともに環境保全に努力し、住み良い街づくりに貢献いたします。

環境方針

1. 環境マネジメントシステムにより、企業活動における各分野の環境負荷低減のために定期的な見直しと継続的な改善を図ります。

- ① 環境に配慮した商品の開発と販売、普及に取り組みます。
- ② 省エネルギー、省資源を推進し環境に配慮した店舗づくりを行います。
- ③ 廃棄物を削減するために、3R(リデュース=発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再生利用)を推進します。
- ④ お客様とともに環境保全に努力し容器包装等の店頭回収とリサイクルに取り組みます。
- ⑤ 地球温暖化防止のため、上記施策を推進し、CO₂換算による売場面積、営業時間あたりのCO₂排出量削減に取り組みます。

2. 企業活動に関わる環境関連の適用可能な法的要求事項及び当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。

3. この方針を全従業員が周知・徹底し、企業や地域社会の中で、主体的に環境保全活動に取り組めます。

4. この方針を社内外に広く公表し、積極的な広報活動に努めます。

2008年11月17日 制定
株式会社とりせん

エコアクション21

とりせんは、エコアクション21の全事業所認証を更新しました。



※導入が一部店舗に限られているものもございます。

●コロナ対策

マスクの着用を
お願いします。
なるべくお1人で
※介護が必要な方や未就学児を
お連れの方は除く
wear a mask.

人との距離の確保
距離を保って **keep distance.**
手洗いと消毒
手洗い 消毒 **wash and sanitize your hands**



●バックヤード管理

常に安全で新鮮な商品を提供するため、管理の行き届いた衛生的なバックヤードにて作業を行っています。



●バラ売り

惣菜コーナーのバラ売りは、新型コロナウイルス感染抑制の目的で一時休止しています。(2021年4月)バラ売りすることでトレイ・ラップの使用量を減らしています。また、惣菜コーナーのバラ売り専用のお持ち帰り袋は「紙」扱いで、二酸化炭素排出量はプラ容器の3分の1以下と環境配慮型の包材です。



●LED照明

電気使用量の削減を図っています。



●イートインスペース

新型コロナウイルス感染抑制の目的で利用制限をさせていただきます。(2021年4月)



●おもいやり駐車スペース

車椅子ご利用の方、妊婦やけが等歩行に差し障りのある方が利用しやすいスペースを設けております。



●タクシー乗り場

タクシー専用乗降スペースもあります。



●店頭リサイクル

牛乳パック・アルミ缶・スチール缶・ペットボトル・食品トレーなどの回収を行っています。



●店頭給水サービス

専用ボトルにて無料で持ち帰りいただけます。



一部店舗でLEDライトの外灯を使用しています。

●AED

緊急時にはお使いいただけます。案内所付近にあります。



●授乳室

ソファで授乳ができます。おむつ交換台もあります。



●2人乗りカート

お子様2人が乗せられます。箱ものご購入にも便利です。



●宅配便ロッカー

お買物と一緒に宅配便を受け取れる便利なサービスです。コロナ禍の中需要の高まりにあわせ、アマゾンハブロッカーも導入しました。

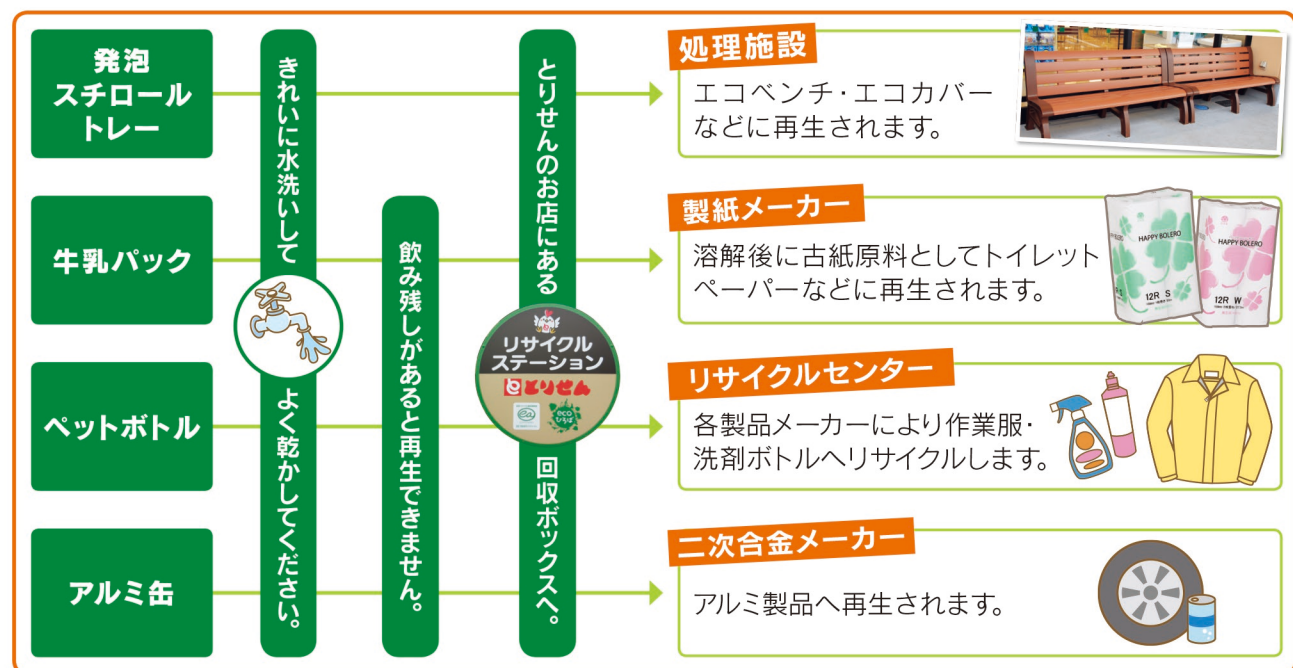


とりせんリサイクルステーション

アルミ缶・スチール缶・牛乳パック・食品トレー・ペットボトル・古紙等の回収に取り組んでいます。
 (店舗により、回収品目が異なります。詳細はp21~22を参照ください。)
 現在43店舗にて導入している古紙回収機とペットボトル破碎機は、回収量に応じてポイントの貯まるシステムとなっています。ポイントは500ポイントで50円分のお買物値引券として使うことができます。



リサイクルの流れ



牛乳パックのリサイクル



アルミ缶のリサイクル



廃食用油

家庭から出る使用済みの食用油・賞味期限切れの食用油を回収しています。回収された食用油はバイオディーゼル燃料に精製されて再利用されています。

実施店舗(2021年4月現在)
 宇都宮市(細谷店・宝木店)
 小山市(羽川店・小山東店・美しが丘店)
 足利市(助戸店・葉鹿店)、土浦市(木田余店)



リサイクルステーションの数値実績

食品トレー回収量の推移 (過去5年)(kg)		牛乳パック回収量の推移 (過去5年)(kg)		アルミ・スチール缶 回収量の推移 (過去5年)(kg)		レジ袋・ビニール類 回収量の推移 (過去5年)(kg)	
2016年	11,305	2016年	54,450	2016年	64,306	2016年	19,310
2017年	16,587	2017年	69,951	2017年	79,247	2017年	25,910
2018年	31,413	2018年	59,020	2018年	123,852	2018年	20,321
2019年	32,253	2019年	63,010	2019年	139,823	2019年	18,900
2020年	26,323	2020年	61,430	2020年	204,110	2020年	13,574

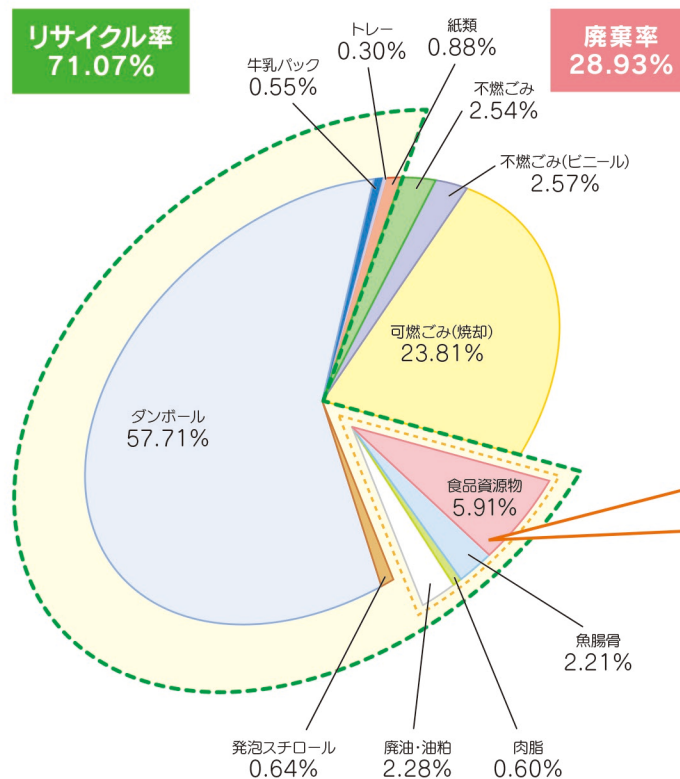
ペットボトル回収本数 (本)		古紙回収重量 (kg)	
2016年	17,458,974	2016年	3,795,443
2017年	16,535,715	2017年	3,959,283
2018年	18,103,642	2018年	3,896,531
2019年	18,762,350	2019年	3,771,733
2020年	18,550,266	2020年	3,764,274

ペットボトル破砕機の内部では、容積を約8分の1にまで小さくし、トラックの回収回数の削減につなげています。細かく砕かれたペットボトル(再生PET樹脂)は、協栄産業様を通じ、サントリー様、キリンビバレッジ様などの飲料メーカーのペットボトル原料に再利用されます。再生PET樹脂はPET樹脂を原油から作る場合と比較し、CO₂排出量を約63%削減できます。

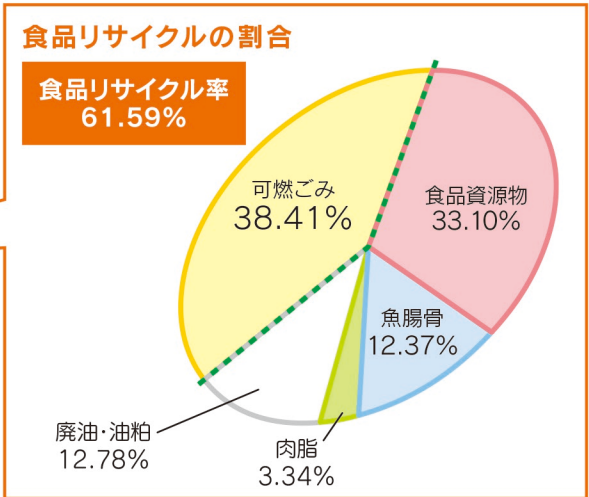
※レジ袋の回収は2020年7月のレジ袋無料配布中止に伴い中止。

廃棄物のリサイクル率

店舗から排出される廃棄物はこれまで焼却か埋め立て処分が普通でしたが、リサイクルし再資源化できる物も少なくありません。とりせんで廃棄物の削減の為に作り過ぎや売れ残りを減らす商品管理をするとともに、生ゴミの堆肥化や肉脂・魚腸骨・食用油などの再資源化に取り組んでいます。



廃棄物	重量	割合
不燃ごみ	273.5t	2.54%
不燃ごみ(ビニール)	276.4t	2.57%
可燃ごみ(焼却)	2,559.5t	23.81%
廃棄物小計	3,109.4t	28.93%
食品資源物	635.4t	5.91%
魚腸骨	237.5t	2.21%
肉脂	64.1t	0.60%
廃油・油粕	245.3t	2.28%
発泡スチロール	68.3t	0.64%
ダンボール	6,203.7t	57.71%
牛乳パック	59.0t	0.55%
トレー	32.5t	0.30%
紙類	94.6t	0.88%
リサイクル小計	7,640.4t	71.07%
合計	10,749.8t	100%



ダンボールのリサイクル



食品資源物のリサイクル



発泡スチロール とりせん資源化センターに集め、減容機にて「成形インゴット」と呼ばれる再生原料にして、海外へ輸出され、商品化されます。

魚腸骨 「魚のあら」のみを専用の容器に入れておき、専門のリサイクル工場へ集められます。ここで魚粉・魚油となり、飼料やマーガリンなどに生まれ変わります。

食用廃油 「使用済み油」のみを専用の容器に入れておき、専門のリサイクル工場へ集められます。ここで揚げカスは肥料工場へ運ばれて肥料に生まれ変わり、油は工業用油脂工場や飼料工場へ運ばれて生まれ変わります。

蛍光管 専門のリサイクル工場へ集められ、水銀・ガラス・プラスチック・金属などに再選別され、また新しい製品へと生まれ変わります。



環境負荷軽減、そして限りある資源を大切に使うために、今年も省エネに取り組んで営業を行ってまいりました。

太陽光パネル

2017年度から本社を含め6店舗太陽光パネルを設置しました。発電量は概ね天井照明をまかなっています。2021年度は5店舗計画しています。



本社

店舗 (パワーコンディショナー)



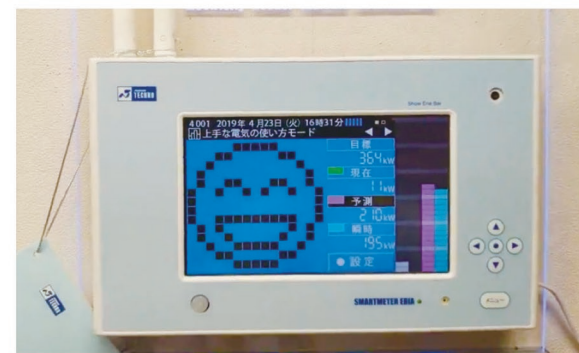
更新工事

地球にやさしい環境への取組みのひとつとして、冷蔵設備・空調設備で使用しているオゾン層を破壊する「特定フロン」からオゾン層を破壊しない「代替フロン」へ更新しています。2013年度から取組み2020年度までで冷蔵設備33店舗、空調設備15店舗更新しました。又、設備更新時に配管等の設備も更新し、ガス漏れ対策も実施しています。



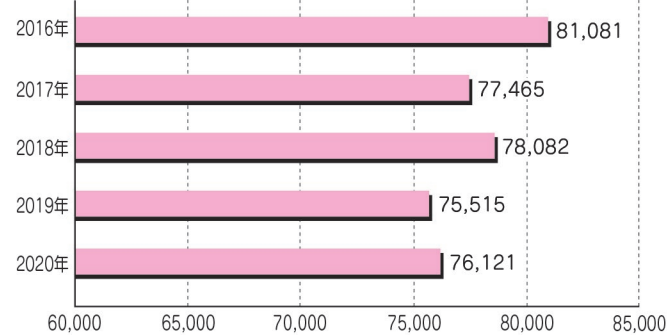
エネルギー使用量の削減

2020年度については節水コマを14店舗に設置して水道使用量の削減をはかりました。電気・ガス・水道使用量の推移は下表の通りとなります。

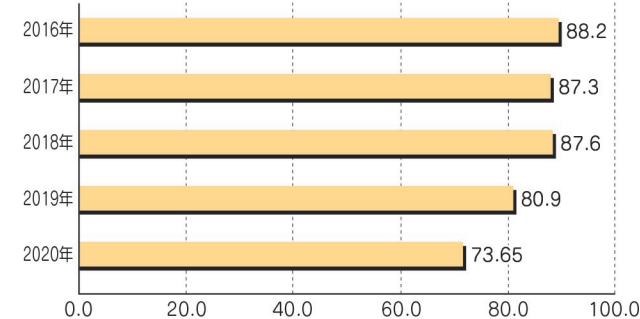


電気の見える化 ※イメージ

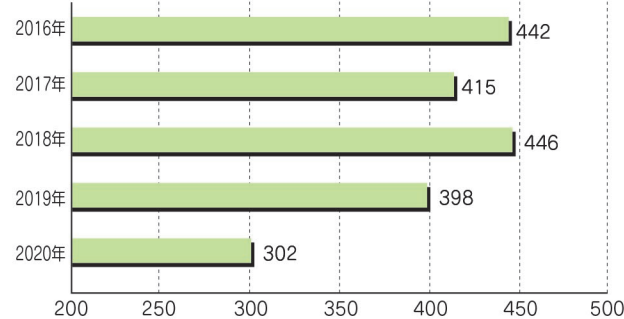
■電気使用量の推移表 総使用量(千kwh)



■ガス(LPG)使用量の推移 総使用量(千m³)



■水道使用量の推移 総使用量(千m³)



食品ロス削減への取組み

廃棄物の「発生抑制」への取組み

- ・2020年7月1日から「プラスチック資源省資源化」に基づいて、レジ袋無料配布を中止、お客様にはマイバケット、マイバックの使用を推奨しました。
- ・「ノントレー」商品売り場を設置、廃プラスチック削減に取り組めます。
- ・食品ロス削減推進法による廃棄物の発生抑制を意識して店舗廃棄金額の削減に努めました。
- ・食品ロス削減の啓蒙のため、少量の使い切り商品売り場の導入。



催事における予約販売の強化

予約販売を推進し、無駄のない販売に努めています。



省エネを推進するための会議

2002年からの取組み、「チャレンジ95」が2008年には「環境ダイエツ運動」となり、現在の取組み、会議につながっています。2010年には、全事業所にてエコアクション21を取得しました。現在はこの更新を続けながら、食品リサイクル率の向上に努めています。



緑のカーテン

本社社屋では、毎年朝顔、ゴーヤなどで「緑のカーテン」を実施しています。緑のカーテンは、熱を反射し、エアコンの電力削減に貢献しています。



とりせんの衛生管理

バックヤードでは

微酸性電解水生成装置(ミュークリーン)を導入。調理器具の洗浄後に、すすぎと同時に除菌を行えるようになり、2次汚染のリスクを軽減しています。

一般的な電解水にくらべて低刺激性のため、手荒れの原因にもなりにくく、従業員も安心して使用できます。



常に安全で新鮮な商品を提供するため、作業中もアルコール製剤を使用し、衛生管理を徹底しています。



<p>一時的品薄・欠品にご理解下さい</p>	<p>1人又は少人数でのお買物にご協力下さい</p>	<p>マスクの着用にご協力下さい</p>	<p>間隔をあけてお並び下さい</p>
<p>咳エチケットにご協力下さい</p>	<p>短時間・回数減少のお買物にご協力下さい</p>	<p>感染懸念行為はお控え下さい(指をなめる等)</p>	<p>お互いの思いやりをお願いします</p>



・コロナ禍のなかで、お客様に安心・安全にお買物をしていただけるよう努めました。
 ・店頭入り口にはお客様に使用していただくためのアルコール製剤を設置しています。



お客様とは

マイバスケット・マイバッグの使用推奨

とりせんでは2006年8月、マイバスケットの販売を開始しました。2020年2月までに**247,325個**を販売し、利用頂いております。マイバスケット・マイバッグ利用の普及により、全社計のレジ袋辞退率は**81.38%**となりました。また、昨年一年間の推定削減枚数は**36,237,290枚**で、**663,142.41ℓ**の石油の使用と**約2,210.47t**のCO₂を削減できたこととなります。尚、レジ袋無料配布の店舗では、レジ袋不要のお申し出で2円引きを実施しております。マイバスケットやカゴ型マイバッグをご持参頂くと、レジにてカゴ詰めを行っておりますので、その後のお持ち帰りも大変便利とご好評頂いております。

マイバスケット利用個数

247,325個



改装・開店の際もマイバスケットの普及に努めています。



「セルフレジ」「とりせんカード」

セルフレジ

お客様自身でチェックアウトできるセルフレジを導入しています。現金はもちろん、とりせんカード・クレジットカードでもご精算できます。

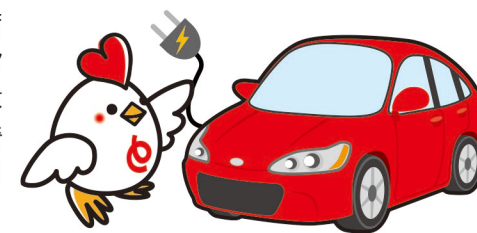
とりせんカード

「TORISEN CARD」は、とりせんをご利用いただける電子マネー機能付ポイントカードです。スマートでスピーディーなお支払いができ、さらに電子マネーや現金のお支払いでポイントもたまります。ボーナスポイント対象商品を購入するとさらにポイントがたまってとってもお得なカードです。



電気自動車充電スタンド

電気自動車の普及に伴い、3店舗で電気自動車の急速充電スタンドを設置しています。群馬県は邑楽町店、栃木県は細谷店、埼玉県は北本店に設置をしております。



物流面では

コンテナ

お店に届く商品の納品形態をダンボールから統一クレートへと変更し、繰り返し使用しています。これによりダンボール使用量の削減を図っています。また、統一クレート使用により、トラックの積載効率の向上、店内作業の効率化にもつなげています。

コンテナボックス年間使用枚数

1,286,060枚

(ダンボール削減量643.03t)
 ※ダンボール1枚当り500g換算

環境にやさしい商品の販売

原料に再生品を使用したリサイクル商品をはじめ、環境への負荷の少ない無公害商品、ゴミの減量につながる詰め替え商品など環境にやさしい商品の販売を積極的に行っています。省資源・ゴミ削減などにつながるこれらの商品をぜひご家庭でご利用ください。

～ 一例のご紹介 ～

<p>リサイクル商品</p> <p>回収された古紙が原料に含まれます。</p>	<p>無公害商品</p> <p>無添加商品やダイオキシン発生の恐れのある塩化ビニールを含んでいません。</p>	<p>詰め替え商品</p> <p>詰め替えタイプを販売することによりゴミを減らします。</p>
--	--	--

「食育」とは文字通り、「食」を通じて食べることの大切さと健康な心と体を育むことで、国をあげての取り組みです。とりせんでは未来を担う子どもたちに野菜・果物を食べる大切さ、楽しさを理解してもらい、正しい食生活を形成して、心と身体の健康づくりに役立ててほしい、そんな思いから食育活動に取り組んでいます。

食育体験学習

野菜や果物についての知識や理解を深めてもらうための体験学習として小学生を対象としたプログラム「5ADAY食育体験ツアー」、園児を対象としたプログラム「5ADAYたべるのおはなし教室」を実施しています。プログラムには、「お買物ゲーム（お買物疑似体験）」や、園児には「野菜果物クイズ」などがあり、大変好評です。「5ADAY食育体験ツアー」や「5ADAYたべるのおはなし教室」は小学校・幼稚園・保育園・児童館を対象に参加を随時募集しています。近くに店舗がない場合は、こちらから出向いて実施することも可能です。また新たな取り組みとして始めた「5ADAYスポーツ食育教室」は、地元のスポーツチームの小学生を対象としたプログラムで、スポーツをするうえで必要な栄養や、食事の摂り方を学んでもらう内容になっています。



収穫体験

とりせんが販売している採れたての高原レタスやにんじん、商品に加工されるトマトの収穫体験ツアーに親子で参加頂きます。野菜畑で初めての収穫体験に子どもたちは元気いっぱい、大喜びの笑顔を見せてくれました。



工場見学

食品工場へ行く工場見学ツアーを実施しています。製造ラインの見学やできたての製品の試食、自分で作る体験などを通じて、製品作りへのこだわりや厳しい品質管理体制などを親子で楽しみながら学んで頂きます。



料理教室

クリスマスケーキや餃子作りなどの親子料理教室を実施しています。料理教室を通じて、食の大切さや作る楽しさを学んで頂きます。



店内イベント

店舗の空きスペースやお客様休憩所の広い店舗を利用して食育イベントを実施しています。所要時間が約1時間という短い時間ですが、食育教室や簡単な料理教室、コーヒーの淹れ方教室など体験を交えながら学んで頂きます。



自然災害被災地への支援

国内外で発生した大規模な自然災害の被災地支援として、店頭での募金活動等を実施しています。2021年2月に足利市内で発生した山火事の際には、緊急支援物資を足利市に寄付しました。



医療従事者への支援

新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療従事者にお役立ていただくため、群馬県に500万円の寄付を行いました。



いばらきの森林づくり活動「森林ボランティア養成講座」に参加しました

レジ袋の無料配布を中止している茨城県内店舗のレジ袋販売収益金を地域の森林整備等の推進活動に役立てていただくよう、2009年より毎年、公益社団法人茨城県緑化推進機構に寄付しています。この寄付活動をきっかけとし、茨城県主催の「森林ボランティア養成講座」にも参加しています。



茨城県緑化推進機構より感謝状

公益社団法人茨城県緑化推進機構通常総会において、「緑の募金」への寄付に対し、感謝状を拝受しました。これは、レジ袋の無料配布を中止している茨城県9店舗のレジ袋販売収益金を森林の整備、緑化の推進にお役立ていただくこと2009年より毎年実施しているものです。今後も当社は、地域の環境保全、緑化推進に積極的に取り組んでいきます。



公益財団法人 尾瀬保護財団への寄付

とりせんは、尾瀬の環境保全に役立てていただくよう、毎年、公益財団法人 尾瀬保護財団に寄付しております。弊社と群馬県が締結した「地域活性化包括連携協定」を契機として、美しい尾瀬の自然環境保護の一助となりたいとの思いから実施しています。



NHK歳末たすけあい募金

お客様よりお預かりした募金を、当社及び当社従業員の募金を添えて、2021年1月に群馬県共同募金会を通じて、各県の共同募金会へ総額45万円を寄付しました。1998年の会社創立50周年事業としてNHK歳末たすけあい募金活動を開始し、今回で23年の活動実績、これまでの募金総額11,951,451円となりました。



自治体との連携

とりせん創業の地である館林市と魅力あふれるまちづくりを協働で推進する「地方創生に係る包括連携協定」を締結しています。



寄付・募金活動実績

尾瀬の環境保全	100,000円
緑の募金(茨城レジ袋販売収益金)	558,156円
令和2年7月豪雨災害義援金	600,000円
日本赤十字社活動資金募金(4月~9月)	200,000円
NHK歳末たすけあい募金	450,000円
日本赤十字社活動資金募金(10月~3月)	181,632円
群馬県への寄付(医療従事者支援として)	5,000,000円

物品寄付

館林市(医療従事者支援として)
防護服、防塵マスク、保護メガネ

足利市(山火事消火作業支援)
飲料水、パックご飯、
レトルトカレー、カップ麺

子育て家庭・高齢者支援カード事業に協賛

地域の子育て家庭や高齢者支援として各県の優待カード事業にとりせん全店舗が登録・協賛しています。

カード提示特典 毎週木曜日、税込価格1,000円以上お買上げのお客様で地域支援カードをご精算時にご提示していただくと小計金額から5%割引致します。

※一部、割引対象外となる商品がございます。※他の割引券との併用はできません。※テナントレジでのご利用はできません。

利用対象カード ※カードの発行・利用等に関しては、お住まいの市町村窓口へお問い合わせください。



産学連携の取組み

群馬県内の商業高校の生徒さんが地元食材の使用や、地域に永く愛されている味をモチーフに商品開発を行っております。また、栃木農業高校の生徒さんが育てた「とちぎ和牛」の即売会を実施しました。

栃木農業高校との和牛即売会
(栃木農業高等学校)



群馬県内商業高校との商品開発



高崎健康福祉大学との
「栄養バランス弁当」の共同開発

店舗でのお客様へのアンケート調査をもとに、健康と栄養のバランス、そして美味しさを考えて開発しました。

- 1994---牛乳パック・食品トレー・ペットボトルの店頭回収を開始
節水システムの導入
- 1995---館林市と「災害救助に必要な物資の調達に関する協定書」を締結
- 1998---創立50周年記念環境問題シンポジウム開催、リサイクル協会会長賞受賞
NHK歳末たすけあい募金 協力活動開始、節水システムの全店舗導入完了
大雨災害義援金を白河市、西郷村、日本赤十字社へ寄託
- 1999---発泡スチロールの自社処理を開始
大泉町と「災害救助に必要な物資の調達に関する協定」を締結
- 2001---再生ゴミ袋の導入使用開始、レジ袋の肉薄化軽量タイプを全店へ導入
- 2002---ポリオレフィン系ラップの導入開始・環境活動レポート発刊開始
- 2003---新物流センター稼働による一括配送開始
- 2004---食品資源物の堆肥化リサイクルを12店舗で開始
ESCO事業によるCO2削減への取り組み開始
- 2005---5ADAY 食育活動開始、雑誌の分別リサイクル開始
食品資源物の堆肥化リサイクルを20店舗に拡大
収穫体験ツアー開始、小学生食育体験ツアー開始
オール電化の店舗、茂呂店(群馬県伊勢崎市)をオープン
- 2006---レジ袋削減のためのマイバスケッ販売を全店で開始
食品資源物の堆肥化リサイクルを30店舗に拡大
- 2007---使用済みレジ袋、アルミ缶の店頭回収リサイクルを開始
ESCO事業によるCO2削減の2004年度分の証明書押領
ペットボトルの店頭回収リサイクルを38店舗に拡大
食品資源物の堆肥化リサイクルを36店舗に拡大
茨城県筑西市と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結
太陽光発電システムを設置した城西の社店(群馬県太田市)をオープン
- 2008---CO2削減のための環境ダイエツト運動を開始
食品資源物の堆肥化リサイクルを39店舗に拡大
[群馬県環境GS]への参加、9月より研究学園にて「レジ袋無料配布中止」
10月よりチーム・マイナス6%へ参加
高根沢町と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結
- 2009---2月より下妻店・木田余店にて「レジ袋無料配布中止」
一部店舗にてエコキャップの店頭回収を開始
3月より群馬県の食品の適正表示推進事業所として26店舗を登録
9月より11事業所にて「エコアクション21」の認証取得
創立60周年記念事業「従業員募金活動」で集まった募金を尾瀬保護財団へ寄付
茨城県緑化推進機構(緑の募金)へレジ袋販売収益金を寄付
館林市へ城沼遊歩道「朝陽の小径」整備として寄付
- 2010---店頭回収したエコキャップの売却益をNPO法人「世界の子どもにワクチン」を日本委員会へ寄付
- 全店舗で「エコアクション21」の認証取得、いばらきの森林づくり活動に参加
バリアフリー新法の「計画の認定」、群馬県ひとにやさしい福祉のまちづくり条例の適合を受けた菅谷店(群馬県高崎市)がオープン
- 2011---6月1日より城西の社店において店頭古紙回収を開始
食品資源物の堆肥化リサイクルを41店舗に拡大
7月16日より全店舗にてお買物袋持参値引きを実施
東日本大震災義援金を日本赤十字社に寄託
- 2012---4月より岡本店など16店舗で古紙・ペットボトルの回収を開始
7月より一部店舗で古着回収を開始、10月より一部店舗で段ボールの本社回収を開始
- 2013---2月より段ボールの全店本社回収を開始
12月26日群馬県と地域活性化包括連携協定を締結
創業100周年を記念して館林市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校など全40施設に1,389冊の図書を寄贈
高崎健康福祉大学との共同開発「30品目の栄養バランス弁当」発売
- 2014---2月より子育て家庭・高齢者支援カード事業への協賛開始
平成26年度全国社会福祉大会において、長年赤い羽根共同募金に貢献したことから「中央共同募金会会長賞」を受賞
群馬県の食育に貢献したことから「食育推進活動優良表彰」を受賞
- 2015---食品資源物の堆肥化リサイクルを44店舗に拡大
太田八幡町店は群馬県防犯協会に協力し、情報発信機能付き自動販売機を設置
台風18号等による大雨災害の被災地に支援物資及び義援金を寄託
群馬県内商業高校2校との共同開発商品を発売
- 2016---7月より電子マネーカード開始、食品資源物の堆肥化リサイクルを46店舗に拡大
- 2017---宅配便ロッカーの設置、ビニール資源の分別回収開始
九州北部豪雨に際して、全店で義援金募金を実施し、日本赤十字社に寄託
渋川市社会福祉協議会が進める高齢者支援の取り組み「あいのり事業」に、渋川店が協力
- 2018---本社・富士見町店に太陽光パネル設置
館林市と地方創生に係る包括連携協定を締結
富士見町店で熱中症予防防声掛け出陣式開催
西日本豪雨災害に際して全店で義援金募金を実施し、日本赤十字社に寄託
- 2019---館林市健康寿命延伸シンポジウム出席
台風19号災害義援金を寄託
栃木農業高校との和牛即売会実施
太田新井店・太田八幡町店に太陽光パネル設置
- 2020---館林市へ防護服等を寄付
館林市内店舗で牛乳応援キャンペーンを実施
- 2021---新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療従事者への寄付を群馬県に寄託
足利市内で発生した山火事の際に、足利市へ救援物資を寄託
移動スーパー「とくしゅ」事業スタート(2021年3月黒磯店にて1号車出発式)

2020年度は新型コロナウイルスの影響により、すべてのイベントを実施することが出来ませんでしたが、例年下記のとりの活動を行っています。

3
March

とりせん「本場山形」チャリティー芋煮会

館林城ゆめひろばを会場に「本場山形」チャリティー芋煮会を開催しています。3個の大鍋で作られた本場山形芋煮を1,500食振舞っています。会場では民舞「せんすい会」・八木節「赤羽八木節保存会」のみなさんや山形大学花笠サークル「四面楚歌」による花笠踊りのほか、館林消防署による「地震体験車」のコーナー、パトカー・白バイとの記念撮影、Menkoiガールズ書道パフォーマンスなどで大いに盛り上がっています。当日お預かりした募金は東日本大震災の被災地復興にお役立ていただくために、義援金として日本赤十字社に寄付しています。



5
May

「清水国明が選ぶ!わが家のアウトドアクッキングコンテスト」

芸能界きつめのアウトドア、自然環境派・スローライフの実践者としても知られる「清水国明さん」をお招きし、とりせん御利用のお客様に「わが家のアウトドアクッキング」を作っていただくコンテストを大平店屋上駐車場でを行っています。毎年、清水国明さんの絶妙なアドバイスもあり、終始アットホームなムードでコンテストは行われています。



7
July

館林まつり

とりせん発祥の地・館林の夏の恒例イベント「館林まつり」に参加しています。とりせんキャラクター・ハトリんのアドバルーンとうなぎのほりを掲げながらのパレードや風船、うちわのプレゼントなど、楽しいお祭りを通して、地域の皆様との親睦を深めています。



9
September

「とりせん」店舗前に白バイ・パトカーがお目見え!

秋の全国交通安全運動支援として、店頭にてパンフレットの配布や白バイ・パトカーとの記念撮影会を実施しています。たくさんの親子連れが普段は触れることのない白バイ・パトカーと一緒に記念撮影をし、改めて交通安全の意識を高めています。

実施店舗
羽川店・助戸店・富士見町店・ローズタウン店

10
October

「とりせんS&B杯ちびっこ健康マラソン大会&とりせん健康ウォーク」

佐野市や太田市の運動公園陸上競技場及び特設コースに於いて、「とりせんS&B杯ちびっこ健康マラソン大会」並びに「とりせん健康ウォーク」を開催しています。ちびっこ健康マラソンは、小学校1~6年生、健康ウォークは小学校4年生以上の健康な男女・個人参加・家族参加・グループ参加が参加し盛大に行われています。各店舗で募金いただいた金額とラン&ウォークの参加費は、大会終了後に群馬よみうりを通じて、読売「愛のあかぎ基金」に全額寄付しています。

「とりせんわが家の秘伝鍋コンテスト」

料理愛好家として活躍されている「平野レミさん」をお招きし、とりせん御利用のお客様に「わが家の秘伝鍋料理」を作っていただくコンテストを大泉店2階特設会場で行っています。毎年、たくさんの応募があり、最終選考で選ばれた10名の中から、最優秀賞1名、優秀賞2名を選考しています。平野レミさんの楽しいトークやアドバイスもあり毎年和やかなムードでコンテストは行われています。



「とりせん・ハウス食品共同企画バーモントファミリーウォーク群馬大会」

ハウス食品との共同企画としてバーモントファミリーウォーク群馬大会を開催しています。ファミリーウォークは館林市役所そば、陽だまりの広場を出発し、つつじ橋と館林駅で折り返す、自然豊かなコース(約10km)を約3時間半かけてウォーキングを行っています。ウォーキングを通じて健康維持と同時に家族や仲間達とのコミュニケーションアップを図っています。

移動スーパーとくし丸

・ラストワンマイル戦略の一つとして、移動スーパーとくし丸をスタートしました(2021年3月・黒磯店)



3つの目的

- 1: 命を守る(買い物難民支援+見守り協力)
- 2: 食を守る(地域スーパーとしての役割を果たす)
- 3: 職を創る(社会貢献型の仕事を創出)



▲黒磯警察署と「地域見守り活動に関する協定書」を締結しています。



▲2021年1月より開業に向け準備をスタートし、3月黒磯店にて1号車の出発式を行いました。今後も拡大していきます。



▲軽トラックに肉・魚・野菜等の生鮮食品や日用品約1,200品目を揃えています。

社内チェッカーコンクール

お客様への接客レベルの向上、チェッカー部門のチェックアウト業務の向上を目的として、社内チェッカーコンクールを実施しています。様々なシーン(子連れ、妊婦、お年寄り、手をけがしている人、車いすの人等)への対応力向上に役立っています。



社員教育

お客様に気持ち良くお買物をして頂くために～社員教育に力を入れています～
買物環境の向上=職場環境の向上

新入社員研修

《合宿研修》.....

新入社員の合宿研修は2回実施いたします。第一次合宿研修は、「学生から社会人になる」ということを意識してもらうために、徹底した時間管理、集団行動やチームワークの大切さを学ぶカリキュラム。第二次合宿研修は「とりせん社員として」を意識してもらうために、スーパーマーケットの基礎知識や取扱う商品について学びます。



《店頭販売》.....

毎年店舗の駐車場を使用し、新入社員の店頭販売を実施しています。同期・仲間と協力しながら、陳列の方法や、作業効率等を考え、【売る楽しみ】【売れる喜び】【接客の重要性】を体験してより仲間との団結力を深め、接客のレベルアップを目指す研修会です。



とりせんジュニアカレッジ(TJC)

とりせんジュニアカレッジとは、若手社員を対象とした、3月～10月までの間、毎月1回実施するキャリアアップ研修会です。始まったきっかけは、当社の会長が、日々の業務が忙しい中、個人で時間を割いて勉強するのは困難だろうということで、会社が時間を設けて勉強する場を提供しようというのが始まりです。毎回の講義では、各部門の基礎知識の習得を目指し、学習する癖付け、「問題解決能力」を養います。他にも「接客」「エコアクション」など、スーパーマーケットで働く者として必要な知識を得るために励んでいます。このTJCという研修会は、今後のとりせん人生のなかで骨格となる勉強会です。

3.5.7年振り返り研修会

入社後3年・5年・7年経過した社員向けに行う研修会です。過去の自分を振り返り、自己分析、他者からのフィードバックや客観的なデータを元に自己を理解し、今後の将来へのビジョンを明確にします。



その他の研修会

階層別研修会

社外セミナー

とりせんチャレンジ講座
(通信教育)

ワーク・ライフ・バランスの実現

従業員が持っている能力を十分に発揮してもらうためには、職場環境が一番重要になってきます。そこで、当社は、仕事と生活の両面でバランスのとれたライフスタイルを実現できるよう、さまざまな制度や取り組みを実施しています。その中でも、当社が、特に力を入れているのは、次世代育成支援対策推進法に基づく、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備を進めています。

次世代育成支援対策推進法とは、次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、もって次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的として制定された法律です。

とりせんの主な制度

配偶者出産休暇

復職エントリー
制度

半日有給休暇
制度

育児休業制度

介護休業制度

当社の制度の中で、特徴的なものとして、「復職エントリー制度」があります。これは、結婚、出産、育児により、退職した従業員が、退職することになった理由が解消され、働けるようになったとき、当社で、再び働ける制度です。この制度の導入により、安心して退職でき、育児等に専念できる、と好評です。

また、このような取り組みが評価され、群馬県より、「群馬県いきいきGカンパニー」に認証されました。

「群馬県いきいきGカンパニー」とは就業規則等の社内規則に「育児・介護休業法」に沿った内容を規定し、仕事と育児等家庭の両立支援の取り組みを宣言するなど、一定の認定条件を満たしている企業について「群馬県いきいきGカンパニー」として認定されます。

今後も、さらなるワーク・ライフ・バランスの実現のために、働きやすい職場環境づくりに力を入れていきます。



会社概要(2021年2月現在)



社名 株式会社とりせん
本社 〒374-8512 群馬県館林市下早川田町700番地
TEL 0276-74-2121 FAX 0276-75-0874
URL <https://www.torisen.co.jp>
資本金 10億4,300万円
売上高 903億円
事業所 店舗数61店舗、館林物流センター
従業員数 正社員879名
パート・アルバイト2,347名(8時間換算)
事業内容 スーパーマーケット

群馬県 認定登録
エコアクション21・食品リサイクル優良事業者・群馬県「ぐーちよきパスポート」「ぐーちよきシニアパスポート」協賛・栃木県「とちぎ笑顔つぎつぎカード」協賛・茨城県「いばらきKidsClubカード」

群馬県地産地消推進店※1...群馬町店・渋川市・子持店・箕郷店・菅谷店・平和町店・時沢店・ローズタウン店・大泉店・大間々店・東矢島店・下田島店・城西の杜店・大原店・太田新井店・成島店・富士見町店・邑楽町店

埼玉県 認定登録
エコアクション21・食品リサイクル優良事業者・群馬県「ぐーちよきパスポート」「ぐーちよきシニアパスポート」協賛・栃木県「とちぎ笑顔つぎつぎカード」協賛・茨城県「いばらきKidsClubカード」

栃木県 認定登録
エコアクション21・食品リサイクル優良事業者・群馬県「ぐーちよきパスポート」「ぐーちよきシニアパスポート」協賛・栃木県「とちぎ笑顔つぎつぎカード」協賛・茨城県「いばらきKidsClubカード」

栃木県地産地消推進店※2...助戸店・佐野西店・小山東店・大平店・羽川店・氏家店・真岡店・細谷店・東光寺店・岡本店・高根沢店

茨城県 認定登録
エコアクション21・食品リサイクル優良事業者・群馬県「ぐーちよきパスポート」「ぐーちよきシニアパスポート」協賛・栃木県「とちぎ笑顔つぎつぎカード」協賛・茨城県「いばらきKidsClubカード」

2021年4月現在